

予算	款	項	目	決算書	
	10	5	4	314	頁

目名
文化財保護費

事業名称
歴史民俗資料館運営事業

1. 概要

目的	歴史民俗資料館を基本施設として、各支局と共に市民等へ文化財に接する機会や情報を提供し、文化意識の高揚を図る。	対象	市民
事業概要	○歴史民俗資料館運営事業 ・歴史民俗資料の公開・展示・広報 歴史講座等:31回 常設展示:通年 市報広報:12回 ・歴史資料の収集 2件		

臨/経	細事業名称	事業内容（主な経費等）	予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	歴史民俗資料館運営事業	歴史民俗資料館運営 工事請負費	6,882	5,920			44	5,876	3
計			6,882	5,920	0	0	44	5,876	

2. 指標設定

成果指標	指標名	文化財の保護・歴史伝統文化の保全に対する市民の満足度	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	34%以上			総合計画／後期基本計画において、基本施策(5-2-1)の目標としているため			
活動指標	指標	a	史料整理・公開数	b	所蔵史料の常設展示回数	c	調査研究の企画展示回数	d
	数値	目標	—	目標	—	目標	1回以上	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
文化財の保護・歴史伝統文化の保全に対する市民の満足度	%	34.0 %	—	—
	%	100.0 %	—	—

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a	史料整理・公開数	10 件	—	1 件
		—	—	—
b	所蔵史料の常設展示回数	1 回	1 回	1 回
		—	—	—
c	調査研究の企画展示回数	—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
遺物・古文書・民具等の保管・展示が十分でない。
対応（改善点等）
所蔵品整理と共に、既存の資料館及び支局の資料展示室の展示替え等で有効活用を進める。

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

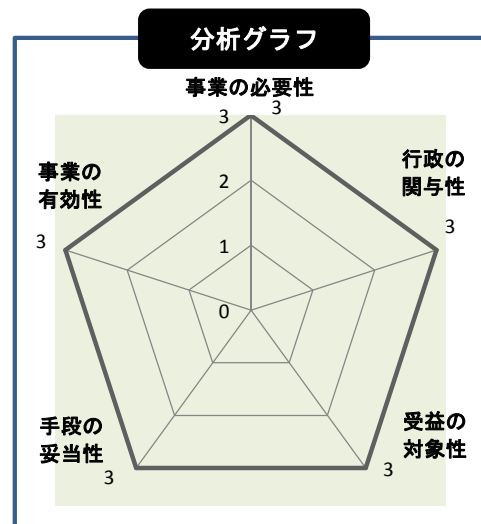
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
		7,088	5,535	5,920	7,139
	うち経常経費	7,088	5,263	2,940	7,139
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	35	45	44	2
	一般財源	7,053	5,490	5,876	7,137
	うち経常	7,053	5,263	2,896	7,137
	事業費に係る人件費	7,664	10,320	8,158	8,282
	事業費に係る人役	1.75	2.40	1.90	1.90

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
資料館運営でこれ以上の経費削減は困難であるため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市民の文化意識の向上
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 行政の必須事項である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 利用者・対象者を制限していない
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 現在のところ妥当と考えられる。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 文化財の認識向上の一助となっている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	効率的な事務の実施及び、経費の削減を図りつつ、引き続き適正な運営を行うこと。